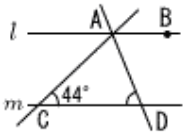
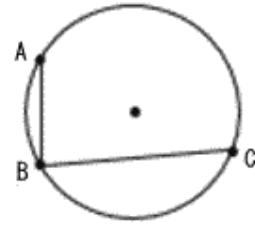




印刷して、紙の上でやってネ!

1 番 問 題		2 番問題 ～おまけ～																						
1	😊 $2 - (-8)$	2	<p>右の図において、2つの直線 l, m は平行である。点 A, B は直線 l 上の点、点 C, D は直線 m 上の点である。また、直線 AD は $\angle BAC$ の二等分線であり、$\angle ACD = 44^\circ$ である。</p> <p>このとき、$\angle ADC$ の大きさを求めなさい。</p> 																					
2	😊 $3 \times (-\frac{1}{9}) + \frac{2}{3}$																							
3	😊 $-7^2 + (-5)^2$	3	<p>図において、円 O は3点 A, B, C を通る円である。円 O の周上の点を P とする。$\angle ABP = \angle CBP$ となるような点 P を作図によって、求めなさい。このとき、求めた点を \cdot で示しなさい。</p> <p>ただし、作図には定規とコンパスを用い、作図に用いた線は消さずに残しておくこと。</p> 																					
4	😊 $\sqrt{6} + \sqrt{24}$																							
5	$a(9a+7) - 9(a^2+1)$	4	<p>関数 $y = -\frac{4}{x}$ について、$x > 0$ の場合、x の値が増加すると、y の値の変化はどのようになるか、次のア～ウから1つ選び、その記号を書きなさい。</p> <p>ア 増加する イ 減少する ウ 変化しない</p>																					
2 番問題 ～おまけ～		5	<p>右の表は、A中学校のある学年の生徒80人を対象に通学時間を調査し、その結果を度数分布表に整理したものである。</p> <table border="1" data-bbox="1260 1646 1508 1792"> <thead> <tr> <th>階級(分)</th> <th>度数(人)</th> <th>相対度数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以上 未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0 ~ 10</td> <td>32</td> <td>0.40</td> </tr> <tr> <td>10 ~ 20</td> <td>24</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>20 ~ 30</td> <td>20</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td>30 ~ 40</td> <td>4</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>80</td> <td>1.00</td> </tr> </tbody> </table> <p>このとき、通学時間が10分以上20分未満の階級の累積相対度数を求めなさい。</p>	階級(分)	度数(人)	相対度数	以上 未満			0 ~ 10	32	0.40	10 ~ 20	24	0.30	20 ~ 30	20	0.25	30 ~ 40	4	0.05	合計	80	1.00
階級(分)	度数(人)			相対度数																				
以上 未満																								
0 ~ 10	32	0.40																						
10 ~ 20	24	0.30																						
20 ~ 30	20	0.25																						
30 ~ 40	4	0.05																						
合計	80	1.00																						
1	<p>次のア～エの方程式のうち、3が解であるものをすべて選びその記号を書きなさい。</p> <p>ア $3x - 1 = 0$ イ $(x + 2)(x - 3) = 0$</p> <p>ウ $x^2 + 3x = 0$ エ $x^2 - 9 = 0$</p>																							